

各支部暴力追放研修会・新年会の開催

平成30年度の暴力追放研修会・新年会

山形支部

平成31年1月23日(水)

講師 山形県警察本部刑事部組織犯罪対策課 鈴木課長補佐
出席者 山形支部長・熊谷代理理事・野口監事・組合員・ホールの皆様 2335名

最北支部

平成31年1月31日(木)

講師 山形県村山警察署 成田刑事課長
出席者 支部長・徳宮理事・大場理事・組合員・ホールの皆様 1918名

置賜支部

平成31年2月7日(木)

講師 山形県米沢警察署 中川刑事第二課長
出席者 支部長・組合員・ホールの皆様 1215名

庄内支部

平成31年2月14日(木)

講師 山形県鶴岡警察署安藤刑事第二課長
出席者 支部長・関上代理理事・李監事・組合員・ホールの皆様 24名

各講師の講話

暴力団情勢と不当要求対応要領
お忙しい中、貴重なご講話ありがとうございました。

県内の暴力団情勢

市内 3団体 7組織 約100名
米沢市 住吉会 奥州山一川総業 6代目
酒田市 住吉会 奥州山一川総業 6代目
鶴岡市 住吉会 奥州山一川総業 6代目

○暴力団の特徴

凶悪化
暴力団は、自己の意に沿わない事業者に対して、拳銃の発砲等を敢行したり、組織内部の抗争から銃器を使用した凶悪事件を敢行している。県内には山口組の組織化による波及しているか不明であり、潜在的に組織化する県内にも懸念されるので予断を許さない。

○潜在化・不透明化

暴力団は、暴力団対策法により行動範囲が狭まれ、今や銀行契約、ゴルフ会員権・入場券、公共住宅の入居契約、車の売買契約等まで、ありとあらゆる面から縛りを作らないで、暴力団の命でもある代紋、看板等を暴力団事務所から撤収して、組織実態を隠蔽し潜在化している。また、活動も政治活動を偽装したり、標榜するなど、不透明化が顕著にもなっている。

○資金源活動の多様化

覚醒剤等の薬物や銃器の密売、賭博のほか、特殊詐欺(うそ電話詐欺)の首魁(しゅかい)等となって犯罪収益を得ているのが実態である。
全国的には、パチンコ店を対象にした「みかじめ料」、用心棒代と称して暴力団が関与したと思料される事件が検挙されている。

○寡占化

六代目山口組、神戸山口組、住吉会、稲川会などの規模の大きい組織による寡占化が続いている。

○暴力団等に対する対応

平素の準備
トップの危機管理
毅然とした態度で接する
問題があったらすぐに店長・経営者上がるシステムづくり
あらかじめ対応責任者、補助者等を指定しておく
対応マニュアル、警察への通報手順を確認しておく

○暴力団排除条項の導入

暴力団等反社会勢力を排除する根拠
暴力団等反社会勢力とは取引しない
取引開始後反社会勢力と分かっていた場合、解約する
警察・暴力追放運動推進センター・組合との連携
現代は、組織防衛のため暴力団かどうか分からない者が数多くいることから「ちよつと変だな、一対応をどうしたらいいか分からない」などがあった場合は、躊躇せずには警察・暴追センター・組合へ連絡する。
休日・祝日は最寄りの警察に連絡・相談する。
急ぐときは、110番にかけて警察官にきてもらう。
各支部で講師の方から配付された資料は必ず熟読する。

○組合からのお祝い

トップは絶対に最初に対応しない
店舗によっては、気持ちは落ちる場合があり、またその時は、気持ちを落ち着かせるために、時間と時間を稼ぎ、平日であれば組合に電話を入れ把握している内容を連絡して相談してください。
(理由 組合には警察OBが勤務)

○複数で対応する

絶対ひとりでは対応しない。
また、証拠上大事なことはICレコーダーでの録音や防犯カメラに映る場所での対応をする。
警察・組合等への相談・通報
休日・祝日は、遠慮せず最寄りの警察署に相談したり、警察官にきてもらい対応する。
場合によっては、110番して警察官にきてもらい対応する。

○暴力団3ないプラス1運動の実践

暴力団3ないプラス1運動
暴力団を恐れぬ
暴力団に金を出さない
暴力団と交際しない

○組合では、平成22年に「みかじめ料等縁切り同盟

を組み合わせ、平成22年に「みかじめ料等縁切り同盟」を形成して、各支部研修会では、講師から経験した事例を具体的に分かり易く説明していただき有意義な会議でありました。
また、最北支部を除く各支部の新年会では、講師を囲み、最北支部の方と身近に接する機会となりました。
警察行政の方と身近に接する機会となりました。
各支部長、理事・監事並びに組合員・ホールの皆様には、新年会にも出席していただきありがとうございます。

組合員・ホールの皆様、グループを同じくして業界情勢や地域の問題、組合への要望・意見、特に警察行政担当者との直接会話が出来る機会、唯一新年会のみであります。
今年度の研修会では、93名、支部新年会出席者が61名でありました。
今年度は、暴力追放研修会出席者は93名、支部新年会出席者が61名でありました。

研修会及び新年会の反省
各支部研修会では、講師から経験した事例を具体的に分かり易く説明していただき有意義な会議でありました。
また、最北支部を除く各支部の新年会では、講師を囲み、最北支部の方と身近に接する機会となりました。
警察行政の方と身近に接する機会となりました。
各支部長、理事・監事並びに組合員・ホールの皆様には、新年会にも出席していただきありがとうございます。

各支部暴力追放研修会

～各支部の講師紹介～

～各支部の講師紹介～



山形支部



県警察本部組織犯罪対策課
課長補佐 鈴木 光司 様



最北支部



村山警察署刑事課長
成田 勇一 様



置賜支部



米沢警察署刑事第二課長
中川 裕昭 様



庄内支部



鶴岡警察署刑事第二課長
安藤 忠和 様